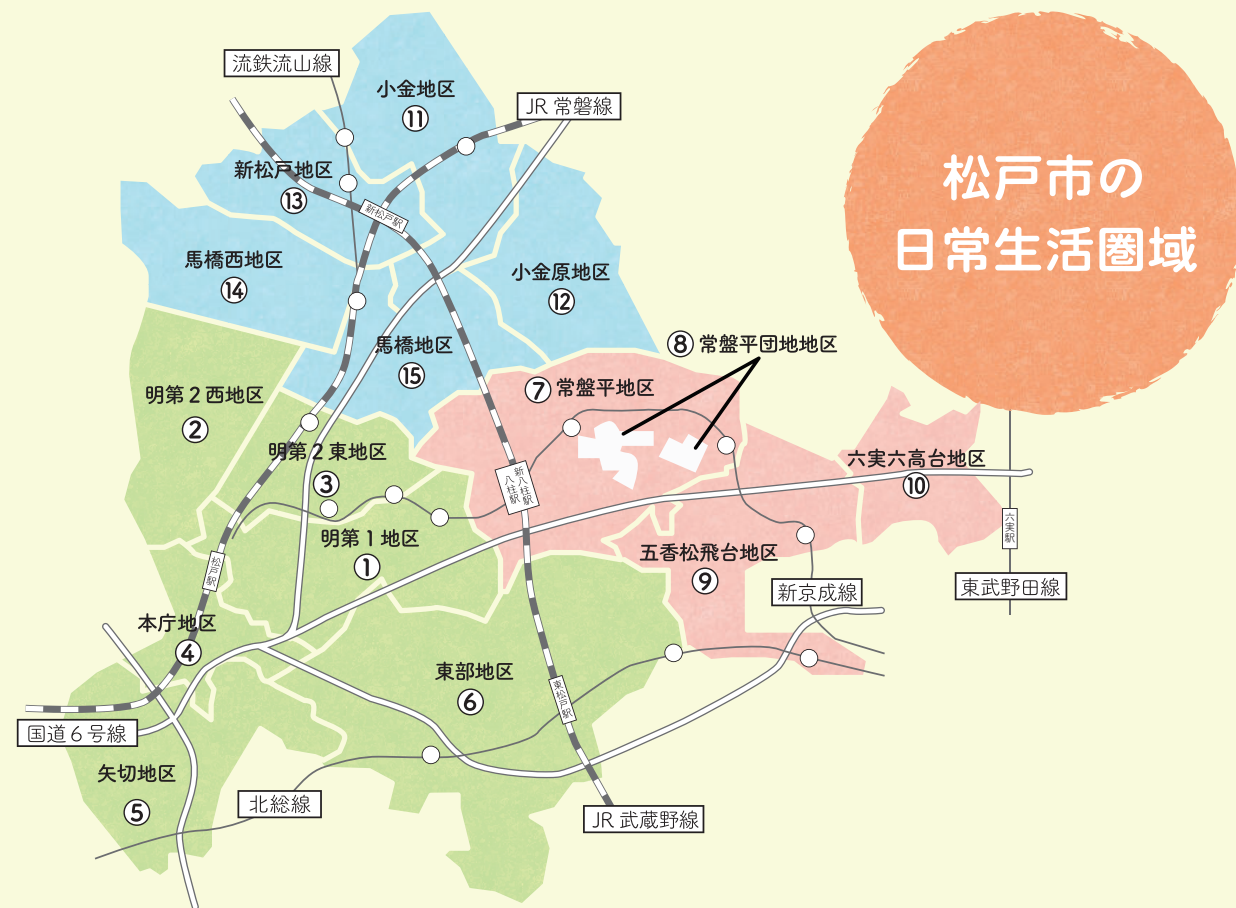




各地域包括支援センター担当地域一覧

① 明第1地区	根本・吉井町・小根本・緑ヶ丘1～2丁目 松戸新田・仲井町1～3丁目・稔台 稔台1～8丁目・岩瀬・野菊野・胡録台	⑨ 五香松飛台地区	串崎南町・串崎新田・松飛台・五香1～8丁目 五香西1～6丁目・五香南1～3丁目・五香六実
② 明第2西地区	栄町1～8丁目・栄町西1～5丁目 樋野口・古ヶ崎・古ヶ崎1～4丁目	⑩ 六実六高台地区	高柳・高柳新田・六実1～7丁目 六高台西・六高台1～9丁目
③ 明第2東地区	上本郷・北松戸1～3丁目・竹ヶ花 竹ヶ花西町・南花島・南花島1～4丁目 南花島中町・南花島向町	⑪ 小金地区	幸田・幸田1～5丁目・中金杉1～5丁目・平賀・東平賀 殿平賀・久保平賀・大金平1～5丁目・大谷口・小金 小金きよしヶ丘1～5丁目・小金上総町・小金清志町1～3丁目 ニッ木・ニッ木二葉町・根本内(国道6号西側)
④ 本庁地区	松戸・小山・本町・二十世紀が丘美野里町	⑫ 小金原地区	根本内(国道6号東側)・小金原1～9丁目・栗ヶ沢 八ヶ崎1丁目・小金1700番台
⑤ 矢切地区	上矢切・中矢切・下矢切・三矢小台1～5丁目 二十世紀が丘柿の木町・二十世紀が丘萩町 大橋(旧有料道路(県道松戸・原木線)西側)・栗山	⑬ 新松戸地区	横須賀1～2丁目・新松戸1～7丁目・新松戸東 新松戸北1～2丁目・小金1100～1300番台
⑥ 東部地区	河原塚・田中新田・紙敷・紙敷1～3丁目・東松戸1～4丁目 秋山・秋山1～3丁目・高塚新田・和名ヶ谷 大橋(旧有料道路(県道松戸・原木線)東側) 二十世紀が丘丸山町・二十世紀が丘中松町 二十世紀が丘戸山町・二十世紀が丘梨元町	⑭ 馬橋西地区	旭町1～4丁目・外河原・七右衛門新田・主水新田 新松戸南1～3丁目・西馬橋1～5丁目・西馬橋相川町 西馬橋蔵元町・西馬橋幸町・西馬橋広手町・馬橋(JR線西側)
⑦ 常盤平地区	金ヶ作・千駄堀・常盤平1～7丁目(常盤平団地の担当地域を除く) 常盤平双葉町・常盤平窪町・常盤平陣屋前 常盤平柳町・牧の原・牧の原1～2丁目・日暮 日暮1～8丁目・常盤平松葉町	⑮ 馬橋地区	馬橋(JR線東側)・三ヶ月・幸谷・八ヶ崎・八ヶ崎緑町 八ヶ崎2～8丁目・中根・新作・中根長津町・中和倉
⑧ 常盤平団地地区	常盤平1丁目のうち駅上市街地住宅・常盤平2丁目のうち1街区 常盤平3丁目のうち3街区・中央市街地住宅・駅前市街地住宅 セントラルハイツ・常盤平4丁目のうちE街区 常盤平7丁目のうち2街区・けやき通り住宅		



高齢者の活躍が 地域をより良くする

2024年度 多機能コーディネーター活動報告



目次 contents

- 1 多機能コーディネーターとは 02
- 2 生活支援体制整備事業とは
地域に必要な「生活支援・介護予防」とは? 03

① 明第1地区	地域力を活かした介護予防の推進	 04
② 明第2西地区	地域づくり関係機関の連携強化 / 地域住民の支え合い・助け合い推進 / 防災を含む地域の見守り体制強化	 06
③ 明第2東地区	災害に備える地域づくり ~防災力を高め、地域の繋がりをつくる~	 08
④ 本庁地区	協働のまちづくり ~地域共生社会を目指して~	 10
⑤ 矢切地区	誰もが生きがいや楽しみを持って地域活動、地域交流できる地区を目指して	 12
⑥ 東部地区	多機能コーディネーターの役割周知/新たな居場所開設に向けて	 14
⑦ 常盤平地区	高齢者の見守り活動について各団体が相互の連携を強めながら、無理のない協力体制を築いていく	 16
⑧ 常盤平団地地区	常盤平団地でハッピーに暮らそう ~外に出て楽しく過ごそう~	 18
⑨ 五香松飛台地区	避難訓練実施状況の把握と、認知症や要支援者の自宅から収容避難所までの避難訓練	 20
⑩ 六実六高台地区	地域の方々とつながってイベントや講座を開催	 22
⑪ 小金地区	遠隔地域での活動 ~交通不便・移動困難・社会資源不足地域~	 24
⑫ 小金原地区	あなたらしさに、寄りそう。「最後まで暮らしたい小金原」	 26
⑬ 新松戸地区	買物支援マッチング ~これから外に出て自分で買物ができるように~	 28
⑭ 馬橋西地区	シニアの社会参加へのアプローチを積極的に取り組みながら住み慣れた街でいつまでもお元気で過ごして頂く活動を行う。	 30
⑮ 馬橋地区	防災訓練をきっかけとした、見守りし合うネットワークの構築	 32

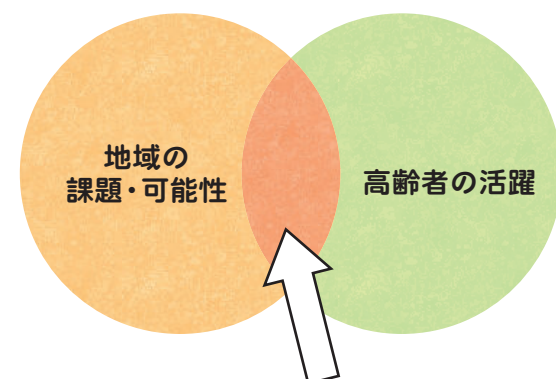
- 3 令和6年度 地域づくり報告会 34

多機能コーディネーターとは

令和5年度から
各地域包括支援センターに配置

3つの機能

生活支援コーディネーター
就労的活動支援コーディネーター
認知症地域支援推進員



認知症のある方を含めた高齢者が
地域に参加し、その方々の出番や活躍で
地域をより良くしていく支援

生活支援体制整備事業とは

後期高齢者・単身世帯の増加から、介護を必要としないまでも、**軽度の生活支援・介護予防**を必要とする高齢者が増加しており、地域の体制を考える必要性が高まっている。



地域で長く元気に生活できる仕組みを、地域の皆さんと一緒に考えて、地域に合った形を作っていく取り組み。

地域で起きている
「日常の困ったな」を
みんなで解決できないだろうか。

地域ケア会議
(協議体)

2層ワーキング

地域に必要な「生活支援・介護予防」とは?

例えば /

- ・地域のサロンの開催
- ・見守り、安否確認
- ・外出支援
- ・買い物、調理、掃除など...

こういった活動に参加(社会参加)することで**介護予防**に効果があることがわかっています。

一律の制度では、地域の実情やニーズとミスマッチを起こしがち...

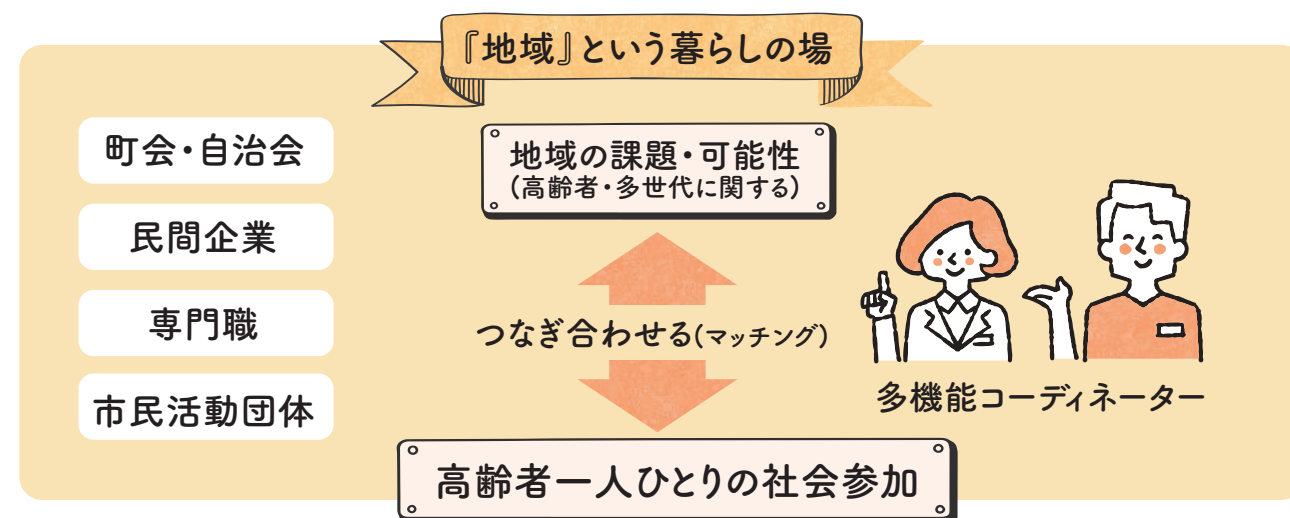
そのため /

- ・地域によって異なる課題に合わせて
- ・地域に合った形を考えていく必要がある。

多機能
コーディネーターが
サポートします!!



暮らしの場である地域の中で、専門職や企業等と連携しながら、地域の課題や可能性に対して高齢者自身の活躍の機会や場を繋ぎ合わせていくことで地域をより良くし、一人ひとりが自分らしく暮らし続けることを目指す。



- ・元気な高齢者
- ・フレイル状態の方
- ・認知症のある方
- ・介護を必要とする方 等

※介護予防...生活機能維持・向上、早期発見・対応、重症化予防



介護予防にも通じる
社会参加(出番・活躍・役割)で、
地域をより良くする一員へ。

① 明第1地区

根本・吉井町・小根本・緑ヶ丘1～2丁目
松戸新田・仲井町1～3丁目・稔台
稔台1～8丁目・岩瀬・野菊野・胡録台

総人口	55,549人
65歳以上	13,104人
高齢化率	23.6%
75歳以上人口比率	13.2%
※令和6年3月現在	
元気応援くらぶ	12ヶ所
※令和6年12月現在	

地域力を活かした 介護予防の推進

地区の特徴

- 新京成線沿線に発達した地域。駅から離れると土地の起伏がある。住宅街、団地、商店街工場地帯に大別される。
- 都内へのアクセス良好。通勤者のベッドタウン。ファミリー層、学生、外国籍の人も多い。
- 30年程前から見守り活動に力を入れる連合町会、新しい取り組みを行う自治会もある。地域力が大きく、住民の理解・協力を得やすい。

地域課題

- フレイルや認知症などのリスクを抱える方の早期発見、早期予防。
- 介護保険のサービスと人材が不足。インフォーマルの把握と活用、新たな資源の創出が必要。
- 土地の起伏があり、特に岩瀬、小根本、胡録台の一時避難場所が高台に位置。
- 高齢者や障害を抱える方などの避難が難しく、災害時の不安を抱えている。

明るさ一番（2層ワーキング）

① スマホ使い方相談会

1 遊びDE居場所in胡録台に参加 （@デイサービスワカバ胡録台）

日時：令和6年5月26日（日）12:30～15:00

目的：①高齢者に尋ねられて困ったこと、②健康アプリ活用の状況把握

内容：高齢者と子・孫世代の人にアンケート。認知症・フレイル予防の啓発。

⇒①写真の保存、IT関連の言葉、詐欺の不安、地域とのつながりが無い

②健康アプリの活用例：万歩計、薬手帳、食事、血圧、ラジオ体操、糖尿病食カロリー計算、睡眠など

2 地区社協との共催（@稔台市民センター）

日時：令和6年7月11日（木）12:30～15:30

目的：フレイル・認知症予防。

家族や友人とのコミュニケーション力アップ。

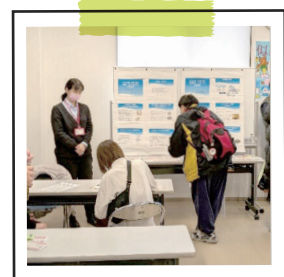
内容：ボランティアのインストラクターが1:1（または1:2）で対応。

困りごと解決。家族や地域との交流。介護予防。

3 ふれあい広場に参加（@明市民センター）

日時：令和7年2月2日（日）10:00～15:00

目的：地域づくり活動の報告、地域住民・多分野との交流、困りごと解決。



② 秋のウォーキング（@稔台地区）

日時：令和6年10月28日（月）9:30～11:30

目的：身近な地域を歩いて、人につながる機会をつくり
フレイルを予防する。マップやスマホの活用によるセルフケアを推進する。

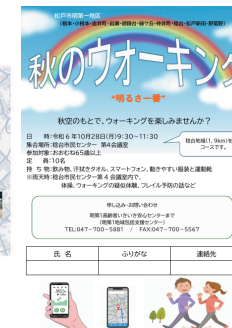
対象：外出の機会が少なく、人との交流が少ない高齢者

内容：健康推進員の助言をもとに作成したマップと
初心者編マップの使い方資料を配布。

市民センター集合。準備体操、ルート確認し出発。

みのり神社、稔台公園、ひだまりの庭（おふんガーデン）で休憩。

開拓50年記念碑、一本杉の下、防災倉庫などを確認。



就労的活動支援

① ペーパークラフト講座（@サ高住）

日時：令和6年7月17日（木）14:30～15:30

目的：趣味を活かして役割を持った地域活動ができる

内容：趣味でペーパークラフト制作を行う高齢者が

講師となり、地域住民に招き猫の作り方を伝授。

閉じこもりがちだった講師の社会参加、

地域交流の場が生まれ、意欲向上につながった。



② キッズルームと きらきら憩いの場の交流（@小学校）

日時：令和6年8月26日（月）10:00～10:30

目的：元気応援くらぶ参加者が昔あそびを通じて、
子ども達と交流。高齢者の社会参加を促進。

内容：こま回し、おはじき、メンコ飛ばし、お手玉など

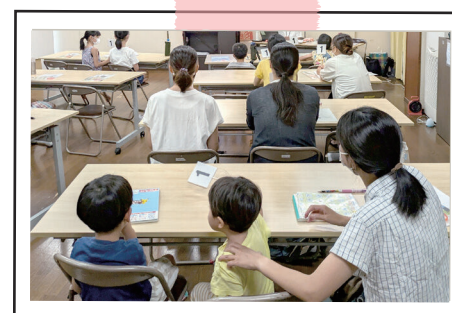


認知症地域支援、その他

- ・親子で認知症サポーター養成講座（@いわせちゃや）
- ・多機能コーディネーターの役割を発信
- ・お役だちマップの更新（文化、運動、脳、食事などに分類）
⇒インフォーマル同士の交流の場が必要と感じ、
地域包括ケア推進会議につないだ。

次年度に向けて

1. 春のウォーキング開催
2. 人材の掘り起こしによる高齢者の活躍の場づくりと支え合い
3. インフォーマル同士や専門職とのコラボによる介護予防の推進
4. 防災の備え



② 明第2西地区

栄町1～8丁目・栄町西1～5丁目
樋野口・古ヶ崎・古ヶ崎1～4丁目

総人口	30,656人
65歳以上	8,053人
高齢化率	26.3%
75歳以上人口比率	16.4%
※令和6年3月現在	
元気応援くらぶ	4ヶ所

※令和6年12月現在

地域課題

- 長い距離を歩けなくなり、外出困難や買物困難の高齢者が増えている。また町会サロン等集いの場への参加者も減っているため、介護予防の取組強化が急務。
- 地域福祉の中心である社会福祉協議会・自治会・民生児童委員などの担い手が高齢化し後継者不足が深刻。関係機関が連携してボランティア不足などの地域の問題を話し合う基盤作り。

地域課題解決に向けた活動

明第2西地区のふれあいひろばを社会福祉協議会と地域包括支援センターが共催。
民生委員・町会・高齢者支援連絡会・ケアマネジャー・中学校が協働
(実行委員会で1年間に5回×2時間議論)



地域づくり関係機関の連携強化
地域住民の支え合い・助け合い推進
防災を含む地域の見守り体制強化

地区の特徴

- 河川が3本(江戸川・坂川・六間川)南北に縦断していて、全域がハザードマップ危険区域(洪水・液状化)になっている。災害時の避難行動要支援者が多い。
- 耕作地から住宅地への移行が進んでいて、新築の家が増えてい一方、昭和の高度成長期に建った古い狭小住宅に住む高齢者が多く、空き家も増えている。
- 17の町会があり、それぞれ住民サロンを開催してきた。

地域福祉・教育の主要な関係機関が協働して
全世代住民参加イベントを開催。
【住み続けられるまちづくり】を提唱

【テーマ】住み続けられるまちづくり
(SDGs目標11)

【特徴】多世代の住民が参加
(ボランティアも中学生～認知症高齢者まで活躍)

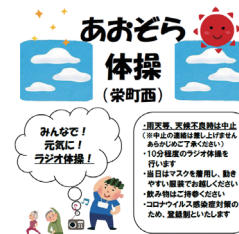
多機能コーディネーター&
地域包括支援センターの主な役割

- ・実行委員会の進行
- ・各関係機関との意見調整、課題整理
- ・ふれあいカフェで店員として活躍する認知症のご本人支援
- ・わらじ作りを特技とする高齢者による子ども向け教室の企画・運営
- ・モルック大会で子ども～高齢者の多世代交流

介護予防・生活支援の取り組み

【将棋の会】立ち上げ
⇒一人の認知症の方
への支援が発展し
住民の集いの場に

住民の集いの場・
活動の場の立ち上げ・
運営支援



高齢者から要望が多い
スマホ教室を開き、高齢者の
社会活動を活性化
(IT弱者高齢者支援)

のんびり 初心者スマートフォン教室 開催のお知らせ

日時 6月17日(月) 13時30分頃～15時頃まで
会場 古ヶ崎市民センター1階 第1会議室 無料です
定員 15名(事前に電話予約された方優先)

※教室の内容は決まっています。皆さんがやりたいこと・知りたいことを聞きながら、のんびりとやります。あくまで初心者向けです。例えば、ライン(LINE)の友達登録方法とか、地図アプリの使い方とか、写真や動画の使い方などです。



参加者募集！
すまいるショッピング



＜開催日時＞令和6年9月27日(金)・10月25日(金)午前中
※ご自宅からお店まで車で送迎します。店内で付き添いすることはありません。買物で自分でお買い上げください。
※定員は残りわずかです。電話でお問い合わせください。
※原則として買物は、お一人一店舗です。申込みの順に、どの店に行きたいかお伝えください。1人1店までお買い上げいただけます。

急募！運転手ボランティアさん募集しています！

駄菓子屋にらめっこプロジェクト



次年度に向けて

1. 高齢者の見守りと生活支援について、福祉・介護等の支援者(ケアマネ、民生委員、住民ボランティア等)の連携強化。
2. 地区社会福祉協議会等と協働し、SNSなどで地域内の各種社会資源を一元発信できる仕組みを検討する。

地域住民の通いの場を増やすことで、交流の機会を増やし、介護予防につなげるとともに、ボランティアなどの活動の機会・活躍の場を増やす。

③ 明第2東地区

上本郷・北松戸1～3丁目・竹ヶ花
竹ヶ花西町・南花島・南花島1～4丁目
南花島中町・南花島向町

災害に備える地域づくり
～防災力を高め、
地域の繋がりをつくる～

総人口	27,541人
65歳以上	5,982人
高齢化率	21.7%
75歳以上人口比率	12.2%
※令和6年3月現在	
元気応援くらぶ	1ヶ所
※令和6年12月現在	

地区の特徴

- 坂道の多い地域であり、道路まで階段がある家も多い
- エリアによって、内水氾濫のおそれもある場所もある
- 地縁の繋がりが強い地域では、高齢化が進んでいる
- 戸建ての建設により、若年層が増えているが交流が少ない
- 常磐線と国道6号線、河川で生活動線が分断されていて西側のマンション群は、地域とのつながりが少ない

地域課題

- 防災に関する町会の取り組みや備え・防災マップの周知
- 坂が多く高低差があり、場所によって買い物が困難の地域も多い
- 若い世代の後継者・ボランティアの担い手不足
- サロンや通いの場などの社会資源が少ない

地域課題解決に向けた活動

防犯

高齢者が住みやすい町づくりを目的とした取り組み
(2層ワーキングの活動)

町会・小学校連携による避難所訓練
(上本郷小・上本郷第2小・北部小)



- 避難所カードの記入
- 避難所の設営
- 消火訓練
- ダンボールベッド組立
- 防災備蓄品の確認

避難所訓練のワークショップ
「防災・避難所について考えよう」
(23名参加)



- 避難訓練の報告会
- 災害時における自助・互助・公助について
- 災害に備えた我が家の防災計画
- 防災マップの周知

防災 まちあるき 開催 (25名参加)



【イベント案内チラシ】



【更新された地図】

- ✓ 地域資源マップ(防災編)をもとに約90分のまちあるき
- ✓ 防災の視点を身に付けられる
- ✓ まちの危険箇所を探し、問題を発見する
- ✓ 地域の様々な世代の方と交流を図り、助け合える地域づくり
- ✓ まちあるき後、町会の井戸の給水ポンプ使用の体験

その他の活動

介護予防体操教室

毎月2か所で開催
★北松戸会館
★明市民センター
脳トレ・ストレッチ・スクワット
タオルを使用しての体操などを実施

オレンジ協力員の活動

- ・地域の見守り活動(パトウォーク)
- ・近隣小学校の学童と一緒に、街路樹下にマリーゴールドの花植え(オレンジロードプロジェクト)
- ・ステップアップ研修
- ・市民運動会に要介護の利用者と一緒に参加



認知症予防教室



認知症サポーター養成講座

- ✓ 講座の開催先
- ✓ 市民有志
- ✓ 千葉県生涯大学
- ✓ 風早サロン(元気応援くらぶ)
- ✓ 看護専門学校

多世代交流

【戦争体験を風化させないために】

松戸市の平和語り部 大野禮子さんをお迎えして、
多世代(高齢者・中学生・小学生・ボランティア)の
みなさんと被爆体験を聴き、原子爆弾の恐ろしさを学ぶ

「ナガサキ、10歳の夏、れいこさんの戦争」
日時:7月30日(火)午後2時半～
場所:クローバーのいえ(こどもと大人のフリースペース)



次年度に向けて

- ・「防災 まちあるき」の継続
- ・多世代交流の居場所づくり
- ・自主運営サロン(元気応援くらぶ)立上げ支援
- ・マッチング支援・ボランティア活動支援
- ・地域の担い手の発掘
- ・移動販売を通じたコミュニティづくり
- ・町会、民生児童委員、地区社会福祉協議会との連携強化

④ 本庁地区

松戸・小山・本町・二十世紀が丘美野里町

協働のまちづくり
～地域共生社会を目指して～

総人口	25,193人
65歳以上	5,319人
高齢化率	21.1%
75歳以上人口比率	11.5%

※令和6年3月現在

元気応援くらぶ	12ヶ所
---------	------

※令和6年12月現在

Point! R5年度:6ヶ所→R6年度:12ヶ所

New! 元気応援くらぶ
「松平歌王会」「まめの会」
「なごみの会」「フレッシュ・シンガーズ」
「バーディ会」「松戸テニスを楽しむ会」

地区の特徴

- 松戸駅周辺に位置し、交通の便が良い。
- 公共施設や商業施設が立ち並び、地域活動が盛んで活気がある。
- 高齢化率が低く、若い世代が多く暮らしている。

月	火	水	木	金	土	日

みんなで育てるまちのプランター



エディブルウェイ まちのプランター



みんなで野菜やハーブを育てる「食べられる景観」づくりをしています。
一緒に植物を育てたり、収穫を楽しみませんか？

水やりなどお世話に参加すると収穫や植物を使ったワークショップに参加できます！
お気軽にご参加ください！



エディブルウェイとは・・・お家やお店の前で、お住いの人が野菜やハーブを育て、食べられる景観づくりをしています。これまでは個人のお家の前での活動でしたが、令和6年度松戸市協働事業としてまちのプランター活動が始まりました。
オレンジガーデニングプロジェクトとも協力しています！

* お家・お店の前のプランターは個人が管理しています。
無断で摘み取らないでください。

主催：エディブルウェイプロジェクトチーム 令和6年度松戸市協働事業（みどりと花の課）
協力：松戸三丁目東自治会、本庁地域包括支援センター



民間企業との協働による普及啓発活動

① 『キテミテマツド7階喜久屋書店』
協働にて認知症普及啓発活動実施
(8/7-9月末日)

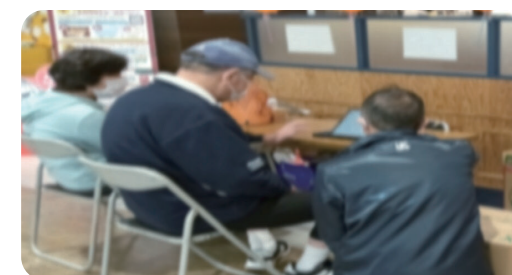


設置したもの

- ・書店で販売している脳トレ本や認知症関連の本
- ・認知症普及啓発のぼり旗
- ・松戸市版認知症ケアパス
- ・オレンジカフェチラシ
- ・折り紙で作成した本のしおり
(オレンジカフェひなげし参加者で手作り)



② 『イトーヨーカドー松戸店』
協働にて認知症・フレイル予防に
関する普及啓発活動実施



次年度に向けて

～更なる地域のつながり・協働を目指して～

- ✓ 地域のニーズと取組のマッチング
- ✓ 地域活動団体同士の交流会の開催
- ✓ 民間企業との連携強化



⑤ 矢切地区

上矢切・中矢切・下矢切・三矢小台1～5丁目
二十世紀が丘柿の木町・二十世紀が丘萩町
大橋〔旧有料道路（県道松戸・原木線）西側〕・栗山



誰もが生きがいや楽しみを持って
地域活動、地域交流できる
地区を目指して

総人口	19,350人
65歳以上	5,084人
高齢化率	26.3%
75歳以上人口比率	16.0%

※令和6年3月現在

元気応援くらぶ	13ヶ所
---------	------

※令和6年12月現在

地域課題

- ・河川敷方面や地区内に急勾配で長い坂や階段があり移動に不便さがある
- ・認知症の方や要援護者が参加できる社会資源が限られている
- ・情報の授受の手段が限られており、今ある地域資源を上手く活用できていない人がいる

地区の特徴

- 健康意識が高い人が多く、サークル・サロン等が活発。元気応援くらぶが松戸市で最多の13か所ある
- 長く住む住民も多く、住民同士のつながりが深い
- 一部地域では、新築戸建ての住宅が増加しており、若い世代の流入が増えている



このような坂や階段が地域の中に多数存在し、移動に困難さを抱える方が多くいらっしゃいます

地域課題解決に向けた活動

1

グリーンスローモビリティ(グリスロ)が
令和6年4月～運行開始!

矢切町会連合会を中心とした実行委員・協力委員・ボランティアにより、矢切地区内の移動手段として運行が開始となりました。多機能Coは「**要援護者**」がグリスロを活用できるようサポートをしています。



地域の通いの場や
地域包括支援センターへの
参加のために活用

サポート例

買い物のために活用



② 地域づくり交流会の開催

令和7年3月7日(金)

『認知症の方の通いの場への参加について』
意見交換会



認知症の方がつながりをもって暮らせる地域にするために
今のような**課題**があるのか、地域の方がどのような
考えや想いがあるのかを共有しました。

矢切地区元気応援くらぶ8団体、まっどNPO協議会
松戸市役所、矢切地域包括支援センター計15名が参加

その他活動

マッチング支援

オレンジパトウォーク



体操教室の様子



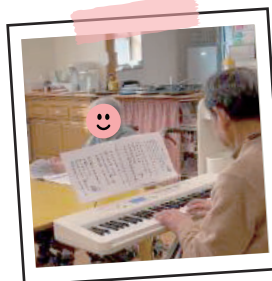
地域の方の社会参加サポート

- ・認知症当事者の方の体操教室、パトウォークの参加
- ・地域の通いの場・地域資源のご紹介 など

地域でのネットワーク構築

- ・地域の店舗への挨拶周り、啓発活動
- ・通いの場の見学、イベントへの参加 など

オレンジ協力員との連携



声掛け訓練の様子
(当日12名がご参加)



ボランティアへの参加を調整

- ・施設や認知症の方個人宅への傾聴
- ・グループホームへのピアノ演奏
- ・松戸まっつの運営支援
- ・小学生向け認サポの読み聞かせ など

認知症高齢者声掛け訓練の実施

認知症当事者の通いの場でのサポート

次年度に向けて

1. グリスロをはじめとする要援護者の移動支援の継続
2. 通いの場等の代表者との地域課題を検討する場の創出
3. ケアマネジメントと連携し、マッチング支援の充実を図る
4. 新規事業に向けた取り組みについて地域での検討

⑥ 東部地区

河原塚・田中新田・紙敷・紙敷1～3丁目・東松戸1～4丁目
秋山・秋山1～3丁目・高塚新田・和名ヶ谷
大橋（旧有料道路（県道松戸・原木線）東側）・二十世紀が丘丸山町
二十世紀が丘中松町・二十世紀が丘戸山町・二十世紀が丘梨元町

総人口	49,521人
65歳以上	10,465人
高齢化率	21.1%
75歳以上人口比率	12.4%

※令和6年3月現在

元気応援くらぶ	8ヶ所
---------	-----

※令和6年12月現在

地域課題

- ①多機能コーディネーターのことを知らない方が多い
- ②体操など運動系の場が多い一方で、趣味系の場が少ない
- ③活動の企画（レパトリー）が少なく、アイデアが思いつかない
- ④居場所の地域差がある。認知症カフェがない

地域課題解決に向けた活動

1 多機能コーディネーターの周知活動

「東部包括だより」を作成し、地域へ配布

- 地域の通いの場を取材し、情報を掲載
地域包括支援センター・多機能コーディネーターの活動について周知地域の方が作った作品を掲載

多機能コーディネーターの役割についての説明

- 地域の通いの場に参加した際、地域ケア推進会議やケアマネ交流会にて説明

2 体操教室に参加している方にアンケートを配布

アンケートを配布し、現状把握

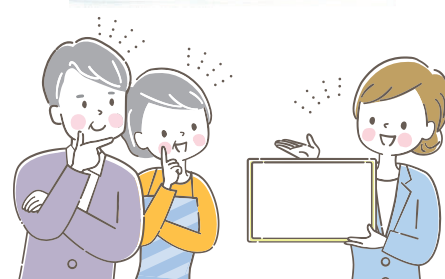
- 体操教室以外にどのような場所が欲しいかを聴取中

多機能コーディネーターの
役割周知
新たな居場所開設に向けて

地区の特徴

面積が広く、坂が多い。マンションや戸建てが新しく建設されており、若年層が増えている。地縁の繋がりが強い地域では高齢化が進んでいるが、健康意識の高い高齢者が多い。若年層の多い地域と地縁の繋がりが強い地域が入り交じっている。

東部包括だより



3 居場所の現状、
認知症の方の通いの場への
参加について意見交換

地域づくり交流会の開催

- 既存のサロンの確認と居場所の現状、自分たちが行っているサロンやカフェの工夫点や課題等の情報交換
認知症の方が参加できるような工夫やアイデア、懸念等の共有

4 新たな居場所開設に向けての活動

専門職の方にアンケートを配布

- 居宅介護支援事業所や専門職の方々に居場所づくりについて協力していただけるかアンケートを配布中

高塚新田集会所以外に集まれる場所が欲しいと声あり

- 高塚新田の方々を集めて居場所づくりに向けての話し合いを実施
小さな森の家 松戸高塚新田にて4月15日10時～12時開催予定

新たな場所で体操教室を行ってほしいと声あり

- 高塚新田緑地にて体操教室を行ってほしいと相談あり。
民生委員と協力し、来年度より開催予定

その他の活動

\\ マッチング支援 //

地域の方の社会参加サポート

- 地域の通いの場の紹介
認知症当事者の方の体操教室、パトウォークの参加など

障害者の方の就労支援をサポート

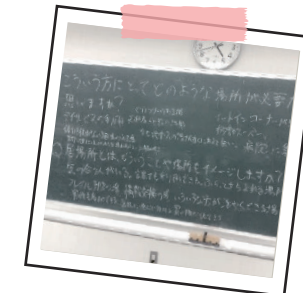
- 就労支援事業所B型を紹介、継続支援中

地域の方とのネットワークづくり、地域活動への参加

- 通いの場の見学、イベントへの参加など

次年度に向けて

1. 多機能コーディネーターの役割についてさらに周知をし、地域の社会資源と対象の方を繋げる個別活動を充実させていく。
2. 居場所開設に向けてワーキングメンバーと話し合いを続けていく。
3. 既存の居場所を充実させたいという声があり、さらに活用・充実できるような内容を検討していく。



⑦ 常盤平地区

金ヶ作・千駄堀・常盤平1～7丁目（常盤平団地の担当地域を除く）
 常盤平双葉町・常盤平西窪町・常盤平陣屋前
 常盤平柳町・牧の原・牧の原1～2丁目・日暮
 日暮1～8丁目・常盤平松葉町

総人口	52,970人
65歳以上	14,968人
高齢化率	28.3%
75歳以上人口比率	16.8%

※令和6年3月現在

元気応援くらぶ	8ヶ所
---------	-----

※令和6年12月現在

地域課題

- ・ 家族の支援が受けられない独居の高齢者世帯が増えている。片付けができないなどの状態が現れ近所からの申告で表に出てくる問題が多数
- ・ ひきこもりや障害のある子どもとの同居をしている高齢者世帯が増加。自身の相談と伴に子供の相談も増加
- ・ 独居高齢者の安否確認件数の増加



民生委員児童委員（高木地区・常盤平地区）
 常盤平高齢者支援連絡会、常盤平地区社会福祉協議会、町会長、NPO協議会、地域包括支援センターがワーキングメンバーとなり、2層ワーキングを実施

『今年度のテーマ』

地域で活動する各ボランティア（民生委員・高齢者支援連絡会：相談協力員・オレンジ協力員の活動をそれぞれが理解し、見守り支援を協働できる体制を整える

地域課題解決に向けた活動

2層ワーキングの実施

民生委員児童委員・相談協力員・オレンジ協力員の活動報告。それぞれのボランティアが地域で交わりながら活動できることの意見交換などを行い協働の道を探る

連携のためには地域ボランティアの増員が必須!!
 ボランティア増員を目標に活動を開始することで合意した

常盤平地域づくり交流会

常盤平市民センター（ホール）
 3/20（祝）10:45～12:15

参加者 町会長・自治会長
 高齢者支援連絡会
 オレンジ協力員
 福祉関係者

テーマ

高齢者の見守りについて各地域で考えよう

高齢者の見守り活動について
 各団体が相互の連携を
 強めながら、無理のない
 協力体制を築いていく

地区の特徴

- 松戸市の中でも総人口が多く、65歳以上の高齢者人口が多い地域である。
- 28の町会から成り、それぞれの地域特徴で自治会の活動を行っている。民生委員も常盤平地区・高木地区と二手に分かれそれぞれの特徴を生かし見守り支援を行っている。

その他の活動



認知症サポーター
養成講座

中学生（金ヶ作中学校）と地域住民
 地域包括支援センターの取り組み
 認知症普及啓発事業

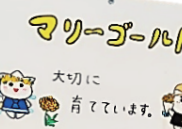


認知症高齢者
徘徊模擬訓練

徘徊高齢者役の職員に対し
 生徒たちは一生懸命声をかけ
 対応してくれました



施設のご入居者さんと職員さんが
 大切に育ててくれたマリーゴールドを
 金ヶ作中学校の花壇へ
 生徒とともに植栽しました



若い力と地域の
 活性化



常盤平圏域掲示板数 全333カ所

地域包括支援センターを知っていただけるように
 各町会の掲示板に地域包括支援センターの
 行事を貼ってもらい普及啓発をしています

常盤平地域包括支援センターからのお知らせ



次年度に向けて

1. 地域ボランティアの増員に向けた普及啓発と活動支援
2. それぞれの地域ボランティア間での連携体制を強化するために交流会や地域の行事参加で相互交流の機会を増やす
3. 各地域での社会資源の把握とサークルの立ち上げ支援
4. 個別マッチング支援の推進

⑧ 常盤平団地地区

常盤平1丁目のうち駅上市街地住宅・常盤平2丁目のうち1街区
常盤平3丁目のうち3街区・中央市街地住宅・駅前市街地住宅
セントラルハイツ・常盤平4丁目のうちE街区
常盤平7丁目のうち2街区・けやき通り住宅

常盤平団地で
ハッピーに暮らそう！
～外に出て楽しく過ごそう～

総人口	6,505人
65歳以上	3,166人
高齢化率	48.7%
75歳以上人口比率	30.5%

※令和6年3月現在

元気応援くらぶ	0ヶ所
---------	-----

※令和6年12月現在

地区の特徴

- 60周年を超えた団地で構成された地区で高齢化率、75歳以上比率共に最高値。
- 団地内徒歩15分圏内に支所、郵便局、交番、病院、市民センター、図書館、小中学校、スーパー、大きな公園生活に必要なものがそろっていてファミリー層から一人暮らしの高齢者まで多世代にわたり生活しやすい。
- 自治会に力があり、1年通して大きなイベントを開催している。今年度においても顔の見える関係づくりを続けている。
- 外国にルーツを持つ人の割合は約10%、ほぼ中国が占める。
- 住民の高齢化で見守りが必要な 独居の方が増えている、エレベーターがない棟の高齢者の移動などが課題。
- 同じような棟が並んでいるので、外部の事業者等が認知症の方をお連れしたときなど棟番号がわかりにくく家を特定しづらい事例が起きている。

地域課題

- ①居場所づくりをすすめていく、地域づくり活動を地域住民に周知していく
- ②地域住民の交流機会の低下。自治会、地区社協理事レベルの高齢化

地域課題解決に向けた活動

課題解決に向けた話し合い
（地域づくり会議）
を毎月開催している。

地域住民の外出機会を増やすために集いの場
（お茶を飲む会）
の集客強化、
催し情報収集。

TOKIWALKの普及啓発。

（ケアプランに筋力予防文言あれば、
社会資源としてケアプランに入れ込む）

TOKIWALKサポーターの取り込み。

自治会、地区社協の
世代交代を進めるにあたり、
SNS等を利用して地域の
魅力を発信する。
（インスタグラム利用）

まつどDEつながる
ステーション
（つなステ）との共催

その他の活動

お茶を飲む会

SNS発信
準備中

自治会イベント支援

R7.3.15予定
暮らしフェスタ
住民と福祉サービス出合いの場

5月26日

・うたごえ喫茶
・足つぼマッサージ

7月28日

・昭和時代劇上映会
・UFO体操 他

9月22日

・大正琴 演奏会
・昭和の映像を楽しもう

1月26日

・うたごえ喫茶
・健康体操

3月29・30日

・常盤平さくら祭り

10月20日

・秋のスポーツフェア

11月23日

・秋の防災訓練
・徘徊高齢者模擬訓練

12月8日

・クリスマスリース作り
（12/22 つなステ事前準備）

12月1日

・もちつき大会



地域づくり交流会

2025年3月15日（土）暮らしフェスタ2025を開催予定

場所 望のひろば 雨天決行(商店街軒下開催)

ねらい 主に高齢者の生活支援サービスの見本市（紹介）を行い、高齢者や独居になっても住み慣れた団地で暮らせるような地域づくりを目指し、介護事業所・市民団体・住民などのつながりを作ることを目的とする。

- ✓ ケア会議出席事業所、関係機関の地域と関係性のある事業所の参加を募る。
- ✓ 参加事業所にはブースを設けてもらう
- ✓ スタンプラリーでたくさんのブースをまわってもらう。
- ✓ スタンプをあつめて景品を進呈
- ✓ 時間ごとにラジオ体操、クイズ、介護予防体操、電動カートの試乗会、各事業所の説明会、認知症VR体験、ネイルアート、配食弁当の試食を催す。随時ブースをまわることで説明を受けられる。
- ✓ 市社協キャラクターまっころん利用して集客強化に努める

次年度に向けて

1. 居場所づくり（お茶を飲む会）集客強化。
2. お茶を飲む会の内容バリエーションを増やす。
3. SNSの安定運用（支援者とのマッチング）

⑨ 五香松飛台地区

串崎南町・串崎新田・松飛台・五香1～8丁目
五香西1～6丁目・五香南1～3丁目・五香六実

避難訓練実施状況の把握と、
認知症や要支援者の
自宅から収容避難所までの
避難訓練

総人口	36,351人
65歳以上	9,789人
高齢化率	26.9%
75歳以上人口比率	16.4%

※令和6年3月現在

元気応援くらぶ	4ヶ所
---------	-----

※令和6年12月現在

地区の特徴

- 住宅密集地の五香/五香南地区、工業団地とその周辺の五香西/松飛台地区、泉が丘・串崎南町・串崎新田それぞれの自治会を有する串崎地区と、大きく3つの地区に分かれる。
- 自治力が高い町会・自治会が多くあり、民生委員や相談協力員など、地域活動が活発。

地域課題

- ・非常時に、認知症や要支援者など72時間は、自助・公助での対応
- ・認知症や要支援者の避難体制
非常時の地域とケアマネ連携

課題に向けて

- ・各地区（小学校の学区）の避難訓練の実施状況の把握
- ・安心情報カードの見直し
- ・自宅から収容避難所までの避難訓練

地域の避難訓練の状況把握

昨年度、地域福祉避難所から二次福祉避難所までの流れの避難訓練を行い、
今年度は、自宅（発災）から収容避難所までの避難訓練と、避難所開設訓練を実施。
R6.1.1の能登半島地震を踏まえ、避難訓練の大切さを再認識。

松飛台小学校（五香西・松飛台・串崎）

R6.11.17（土）

避難所開設訓練、パーティション、簡易トイレ、
プライベートルーム設置訓練、マンホールトイレ設置訓練
各町会・自治会の方々が約175名が参加

（松飛台小学校、松戸市危機管理課・下水道整備課、
各町・自治会役員・防災担当者、町会・自治会の皆様など）

高木第二小学校（五香・五香南）

R6.10.19（土）

AED実施訓練、簡易タンカ、消火器訓練、
マンホールトイレ設置訓練
各町会の方々が約100名が参加

（高木第二小学校、六実消防署、危機管理課、
各町会役員・防災担当者、町会の皆様など）

松飛台第二小学校（五香西・松飛台）

備蓄倉庫などの確認

避難訓練の実施

発災～収容避難所（小・中学校）までの避難訓練

要支援者（認知症・要介護者・障がい者）との避難訓練

松飛台小学校 体育館

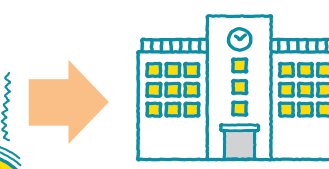
R6.11.17（日）

平時よりケアマネは民生委員に安否確認を依頼、ケアマネは非常時に「緊急・災害時情報カード」を作成し、非常時持ち出し袋と共に玄関のわかる場所に置いていた。

認知症当事者（ケアマネジャー同行）、担当民生委員、ワーキングメンバーと共に避難時の注意点や気をつけるポイントなどを意識し訓練に参加。



自宅（発災）



収容避難所（小・中学校）



「安心情報カード」の見直し

- ・非常時の連絡方法や避難場所の確認
- ・「緊急・災害時情報カード」としケアマネジャーと地域（民生委員など）と平時からの情報共有
- ・避難時に現状報告と共に持参
- ・非常時持ち出し品のチェックと入れ替え・補充

避難訓練の上映会と地域とケアマネ交流会

上映会 開催

R6.11.27（水）

認知症や要支援者が一人での避難は難しく、自助・公助の対応が必要で、平時より「地域」と「ケアマネジャー」との情報共有や『顔の見える関係』が必要。



地域とケアマネ交流会

R6.2.8（金）

東日本大震災体験談の講話

- ✓ 生々しい状況や、辛くなる言葉が沢山あり、人と人とのつながることが大事・大切と改めて痛感。
- ✓ ケアマネは地域を動かすことができない、平時から地域とつながる（共有・連携）ことで、非常時に、自助や互助の力が生き、皆で支え合うことができる。
- ✓ 「緊急・災害時情報カード」の重要性。



次年度に向けて

- ・避難訓練の継続
- ・平時から「顔の見える関係」、「地域」・「ケアマネ」との連携が大切、情報共有をする。
- ・若年層（非常時の担い手）との避難訓練。

⑩ 六実六高台地区

高柳・高柳新田・六実1～7 丁目
六高台西・六高台1～9 丁目

地域の方々とつながって
イベントや講座を開催

総人口	23,095人
65歳以上	6,784人
高齢化率	29.4%
75歳以上人口比率	16.2%
※令和6年3月現在	
元気応援くらぶ	8ヶ所
※令和6年12月現在	

地区の特徴

- さくら祭り、六実っ子祭りなどの大きなイベントが長年開催されている
- 民生委員やNPO、町会、高齢者支援連絡会など、長年熱心に活動しているグループが複数ある
- 2024年5月運行開始のグリーンスローモビリティの知名度と利用率が高まっている

- 大規模団地群がないにもかかわらず、高齢化率が松戸市第3位
- 同時期に引っ越してきた人たちが多く、近隣で高齢化が同時に進んでいる
- 地域活動は町会が中心になっていることが多く、マンション住人や町会に加入されていない方が地域に出て来ない
- 地域活動における男性の参加率が低め
- 駅直結の公共交通機関がない

地域課題

地域の課題解決に向けた活動

高齢者いきいき安心センター（包括）の周知活動

地域の元気なご高齢の方へ

地域づくり交流会 R6.11.4(月)

毎年恒例のウォーキングを実施
今年は六高台の介護事業所めぐり



全世代へ

地域でつながるステーション

年3回のイベントに出席

月1回実施 全世代型居場所

六実・六高台の2か所で開催
相談窓口として毎回出席



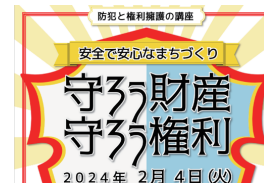
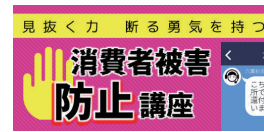
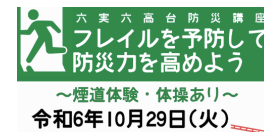
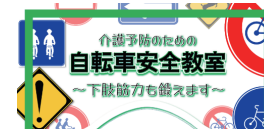
つどうde6∞6

その他の活動

啓発活動

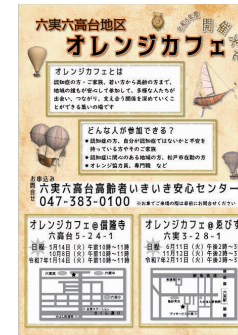
広く興味を持たれるテーマで開催

- ✓ 防犯
- ✓ 防災
- ✓ 落語で介護予防
- ✓ 自転車安全教室 など



オレンジカフェ

六実と六高台の2か所で開催
グリーンスローモビリティを活用



累計利用者もうすぐ1000人

Start
2024
5.13

元気応援くらぶ 立上げ・更新支援

地域包括支援センターのお知らせを発行

スケジュールを2ヶ月ごとに記載

運動教室などで配布



次年度に向けて

- ✓ 地域包括支援センターの周知活動と新規開拓を継続
・必要な人へ 必要な時に 必要な知識と支援を
- ✓ 2層ワーキングでの地域共生社会実現に向けた話し合いを継続
・地域で楽しむウォーキングの実施
・たすけあいの会新規立ち上げ

移動手段が限定的で社会資源も限られているが、
すでにあるつながりと資源を活用しながら輪を広げていく

11 小金地区

幸田・幸田1～5丁目・中金杉1～5丁目・平賀・東平賀
殿平賀・久保平賀・大金平1～5丁目・大谷口・小金
小金きよしヶ丘1～5丁目・小金上総町・小金清志町1～3丁目
ニツ木・ニツ木二葉町・根木内（国道6号西側）

総人口	45,061人
65歳以上	11,277人
高齢化率	25.0%
75歳以上人口比率	14.6%

※令和6年3月現在

元気応援くらぶ	4ヶ所
---------	-----

※令和6年12月現在

地域課題

北部エリア

行動範囲の減少
社会参加の欠如

フレイルの進行

地域づくり交流会

元気モリモリ健康フェスタ

移動販売の周知
健康チェックスタンプラリー
（握力測定・野菜摂取量・骨の健康・簡易心電計）
健康アドバイスと体操
（保健師や理学療法士の健康アドバイス・健康維持のための体操）

自治会のまつりと民間企業とコラボ。今後もつながりを大事にしながら継続的にフレイル予防に取り組む地域づくりを目指す。

陽だまり交流会

10月29日（火）14:00～15:30
特別養護老人ホーム松戸陽だまり館
参加者15名

オレンジ協力員を中心に新たなつながりができ、交流の場の創出ができた。オレンジ協力員同士の横のつながりが強化された。

遠隔地域での活動

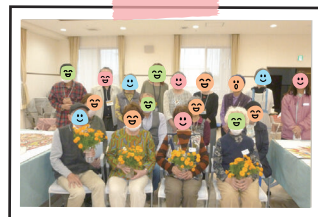
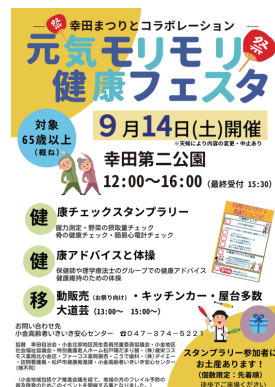
～交通不便・移動困難・
社会資源不足地域～

地区の特徴

- 元々地域活動が活発な地域で、町会自治会・地区社協・民生委員などの活動に参加している人同士のつながりが強い。
- 小金地区の南北で、地形や移動手段の地域差がある。
- 北部地域の社会資源（公共施設・スーパーなど）が不足している。

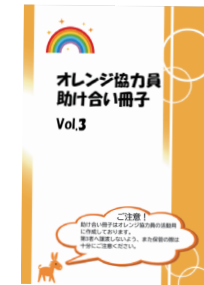
今年度の取り組み

- 野菜の直売所マップ作成
- クールスポットマップ作成
- 移動販売の周知
- フレイル予防の普及啓発
- 地域交流会の実施



オレンジ協力員の活躍

- 定例会の実施（毎月第3水曜日）
- 地域交流会の実施（5回）
- パトワーク（月1回ずつ2エリア）
- 傾聴ボランティア（継続支援6件・終了2件）
- 個別支援（散歩支援1件・終了1件）
- 傾聴実習（特別養護老人ホームにて）



傾聴実習先にて
じっくりお話を聴きました



7月交流会

当事者と共にファッションショー



11月交流会

オレンジミニ運動会



1月交流会

新年の観劇会



パトワーク先に
マリーゴールド
プレゼント

傾聴ボランティア先にて
手作りの茶器を拝見



小金助け合いの会

地域のちょっとした困りごとの助け合い活動

（令和4年～協力会員1名につき30分程度300円の有償ボランティア活動）

今年度の活動実績

- 協力会員数
- 支援実施件数
- 支援実施内容
- 定例会

21名（前年度+8名）
21件（前年度+10件）
雑草取り・電球交換・掃除・
片付け・洗濯・ゴミ出し等
6回（前年度+1回）



明るく新年を迎えられたと
喜ばれた電球交換



自立支援
できることは一緒に！



仏間の片付け
きれいになったと
喜ばれました



ちびっこも参加
多世代交流！



猛暑の中、
大汗をかきながら
室内清掃



コミュニケーションを
とりながらの洗濯干し

次年度に向けて

- 北部エリアの地域交流会を継続して実施し、高齢者が参加できる居場所を定着させる
- オレンジ協力員の個々の活動量に合わせた活動を継続し、オレンジ協力員の活躍の場を広げていく
- 小金助け合いの会の実績を重ね、更なる周知と発展を目指す



⑫ 小金原地区

根木内（国道6号東側）・小金原1～9丁目・栗ヶ沢
八ヶ崎1丁目・小金1700番台

総人口	27,414人
65歳以上	8,929人
高齢化率	32.6%
75歳以上人口比率	20.5%

※令和6年3月現在

元気応援くらぶ	5ヶ所
---------	-----

※令和6年12月現在

地域課題

① 社会資源が活用できていない

個別相談・民間企業連携等
マッピング

洋菓子ミカワヤ（カフェ）
ユニディ常盤平店
グリーンスローモビリティ

② 居場所がない・わからない

つくり・つなげ・つたえる
認知症カフェ「栗カフェ」

ゴミ拾い（パトワーク）
会館フリースペース
グループホーム

③ 地域活動のリーダー不足

地域活動に参加する
老人会

小金原団地モルックサークル
2層ワーキング
認知症サポーター養成講座

地区の特徴

- 小金原団地と商店街が街の中心となっており、商店街には市役所支所、郵便局、クリニック、スーパー、銀行などが揃い、非常に利便性の高い地域。周辺には戸建て住宅が広がっており、静かで落ち着いた環境が特徴。
- 小金原地域は山を切り開いて造成されたため、急坂が多い地形。そのため、移動手段としてグリーンスローモビリティが普及しており、住民の暮らしを支えています。
- 各町会でのイベントが盛んな地域であり、住民同士の交流が活発なのも注目すべき点です。

あなたらしさに、寄りそう。
「最後まで暮らしたい小金原」

個別ニーズに応じたマッチング
居場所をつくり・つなげ・つたえる
住民主体の地域活動支援

その他の活動

グリーンスロー
モビリティ事業

栗カフェの帰宅支援



根木内城址公園でお花見！



いつも栗カフェの
帰りに乗車できて
助かってます！

80代 女性

高齢者支援課より連携依頼

グループホーム

入居者さん栗カフェ参加



うちわ作りをしました！



施設から外出して
地域の方と関われ
て楽しかった！

90代 女性

6町会 123人実施

認知症サポーター
養成講座

イラストメインの講座



声掛け訓練を講座内で実施



講座で学んだことを
すぐに実践できて
理解が深まった！

70代 男性

令和6年度報告

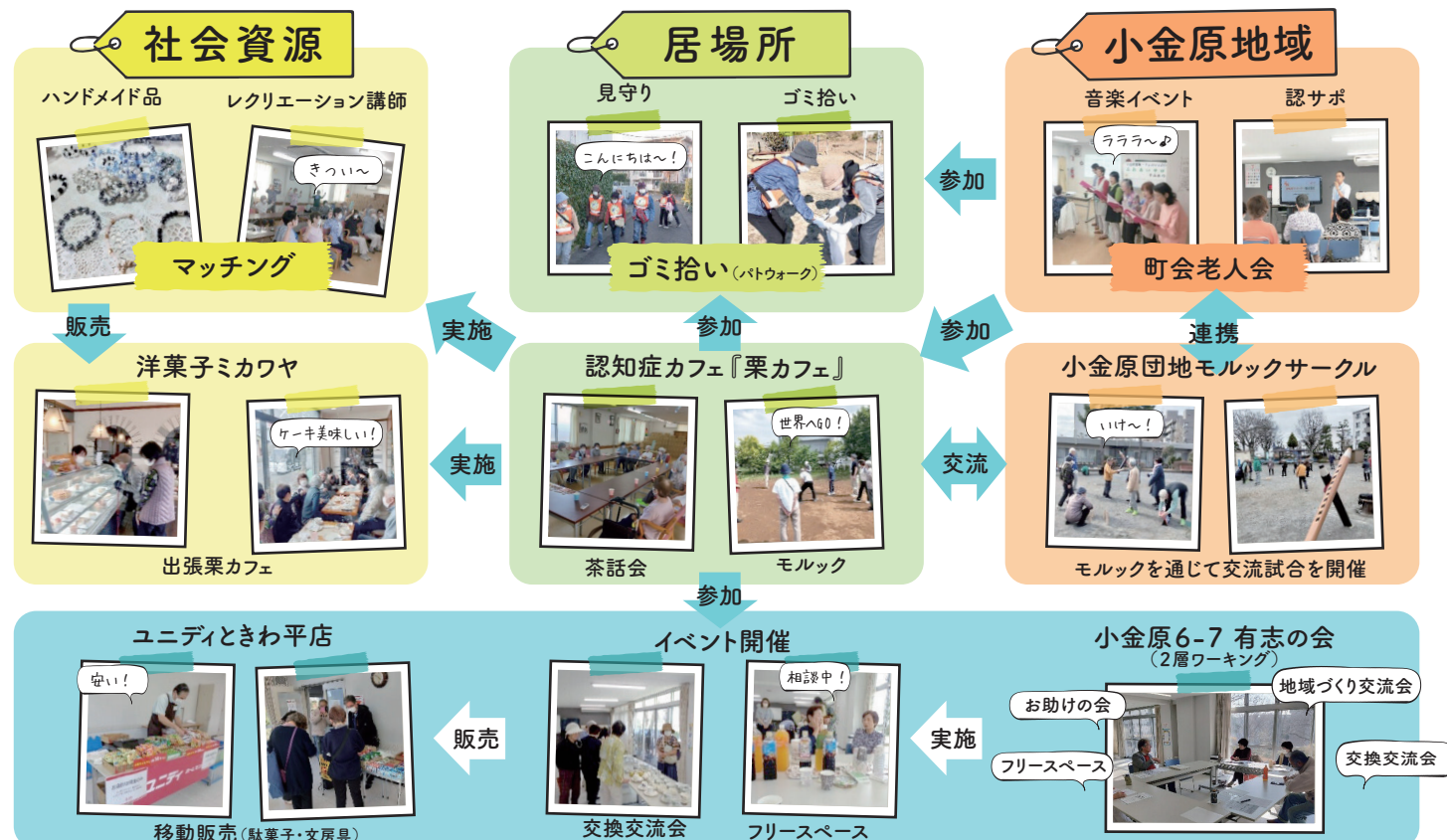
通年目標「最後まで暮らしたい小金原」の実現 ★元気応援くらぶ検討中

	① 社会資源活用 (マッチング・民間企業連携等)	② 居場所	③ 地域活動リーダー
結果	マッチング(成立) ・ハンドメイド品販売 ★レクリエーション講師 ・コーラスグループの活動支援 ・相談員からの認知症カフェ、体操教室への紹介・入会案内 マッチング(相談中) ・麻雀教室講師 ・書道教室講師 ・お茶の先生 民間企業 ・ユニディときわ平店 ・洋菓子ミカワヤ	男性参加者を増やす活動 ★モルック活動の推進・地域連携 ・パトワークを活用した「ゴミ拾いイベント」の開催 通いやすい場を作る ・出張認知症カフェ ・認知症カフェの帰宅支援 誰でも相談できる場をつくる ★会館フリースペース - 悩みを解決したい ★個別スマホ教室(開催予定)	地域老人会リーダー 1名 ・老人会の連絡調整担当 コーラスグループ 1団体 ・活動外地域での活動支援 ピアノ演奏者 1名 ・コーラスグループで活動 レクリエーション講師 1名 ・デイサービススタッフ 2層ワーキングリーダー 1名 ・元引きこもり男性
改善点	・マッチング件数が少ない ・イベントが主体	・送迎などの移動手段が少ない ・活動を継続する予算がない ・広報不足で知らない人が多い	・若年層の取り込みが不十分 ・高齢による継続の不透明さ

次年度に向けて

1. 社会資源活用 ➡ マッチング増加 ➡ 相談員・予防との連携
2. 居場所 ➡ 送迎手段の検討・元気応援くらぶ推進・広報の継続
3. 地域活動リーダー ➡ 若年性の取り込み ➡ 小中学校との連携

地域課題解決に向けた活動



⑬ 新松戸地区

横須賀1～2丁目・新松戸1～7丁目・新松戸東
新松戸北1～2丁目・小金1100～1300番台

総人口	37,636人
65歳以上	10,804人
高齢化率	28.7%
75歳以上人口比率	16.0%

※令和6年3月現在

元気応援くらぶ	11ヶ所
---------	------

※令和6年12月現在

地域課題

- ・マンションによってはボランティア活動が盛んだったり、移動スーパーが来ている所もあるが限定的。バスが通らない地区だと移動手段がない。
- ・独居や高齢者のみの世帯で子が遠方の方が多く、何かあってもすぐに駆け付けられない。
- ・ごみ捨て、買い物に不自由を感じる人が増えている。
- ・自分で商品を選びたいと感じている方は、転倒リスクがあっても買い物に出ざるを得ない。

これまでの経緯とテーマ設定について

多機能コーディネーターとして着任し、地域資源の把握と顔を知ってもらうため、ふれあい会食会、こども食堂、花ももカフェ等、地域の活動に顔を出して行く中で、「重い物の買い物が辛くなってきている」との声が多く聞こえてきた。
イオンフードスタイルのマンションへの移動販売を実際に見学に行った際に、30分間の滞在時間の中で30名以上の住民の方が買い物に訪れるのを目の当たりにした。特に水やお米などの重い物の持ち運びや、溶けやすい物など買い物全般に不自由をしていることが感じられた。

課題に向けた活動

新松戸近隣で移動スーパーを運営しているスーパーマーケットや商店を調査。
店舗訪問や電話でのアプローチを行い、新松戸地区への訪問可否について確認した。

結果

イトーヨーカ堂流山店が運営している「とくし丸」が毎週水曜日の午前中に新松戸地区の個人宅に訪問実施していることがわかった。販売担当者と連絡を取り、新松戸地区への週1～2回の訪問は可能との返事だった。

地区の特徴

- 築40年を超えたマンションが多くあり、独居や高齢者のみの世帯が増加している。
- ボランティア活動が盛んなところもあるが、マンション・町会によって活動量に差がある。
- 交通機関の便がよく、スーパーや薬局が近くにある地域とそうではない地域がある。

買い物支援マッチング

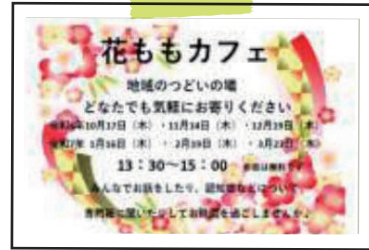
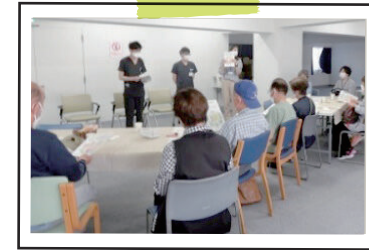
～これからも外に出て自分で
買い物ができるように～



その他の活動 1

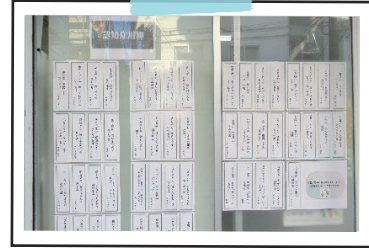
花ももカフェの開催（毎月開催）

予約不要・参加費無料。認知症の方や介護している方だけではなく、通いの場として地域の方が参加。リピーターも増え、月10名ほど参加し、うち男性は1名だが夫婦で毎月参加している。
新松戸中央総合病院の医師や近隣の薬剤師も参加している。



アルツハイマー月間

- 近隣書店とコラボし、認知症コーナーを設置。キッズ認サポを行った小学校にコアラの塗り絵を行ってもらい、書店に飾り付けをした。
- 近隣のグループホームや事業所等に協力依頼し認知症川柳を公募。85句の川柳が集まり、地域包括支援センター前に掲示。川柳以外にも認知症クイズなども掲示。



キッズ認サポ

8月に3か所の学童・キッズルーム、12月に1か所の小学校で4年生に実施した。
地域包括支援センター職員で作成した紙芝居や劇などの媒体を使用。認知症を知ってもらう機会となった。



その他の活動 2

ふれあい広場

地区社協イベントに参加。子ども向けにしおり＆コースター作りと、ロバ隊長作りを行い、計88名が参加した。子どもが作成している間に、包括の連絡先が入ったティッシュを親に配布し包括の周知活動を行った。また、相談ブースも設置した。



次年度に向けて

移動スーパーの運用を進めていく

- ✓ 相談ケースや地域包括支援センターで担当している利用者等に紹介できるチラシや、アンケートを作成し、どのエリアに移動スーパーの需要があるのか、ニーズを把握する。
- ✓ 移動スーパーの担当者と曜日や時間の調整し、移動販売を開始していく。

14 馬橋西地区

旭町1～4丁目・外河原・七右衛門新田・主水新田
新松戸南1～3丁目・西馬橋1～5丁目・西馬橋相川町
西馬橋蔵元町・西馬橋幸町・西馬橋広手町・馬橋（JR線西側）

総人口	22,560人
65歳以上	5,809人
高齢化率	25.7%
75歳以上人口比率	15.3%

※令和6年3月現在

元気応援くらぶ	3ヶ所
---------	-----

※令和6年12月現在

地区の特徴

- 駅周辺、住宅地域、江戸川沿い近辺といったエリアによって住民層の特徴が異なる。
- 商業施設が少なく、高齢者が気軽に集える場所が少ない。
- 平地が多い地区だが、交通の便が悪く移動手段が少ない。

地域で孤立しがちな中高年男性の社会参加を促すために「馬橋西の暮らしを育む会」を立ち上げ男性も参加しやすいゴミ拾い等の活動が続けてきているが、イベント参加は女性も多く来て頂いてるため、今後は男性という縛りを設けず、男女共に高齢者のフレイル予防を目的とし、参加しやすいイベントの企画を行い、いつまでも住み慣れた街でお元気に過ごして頂くことを目標とし活動が続けている。他には生活支援コーディネーターとして個別にニーズを聞き、その人に合った支援活動を行っている。

地域課題

有償ボランティア立ち上げ支援

ケアマネジャーより、社会貢献をしたいと言う方が居るという連絡を受け話を伺いに行く。地元で長年お店等をやられていた男性5人組。自分たちの周りも皆高齢になり草むしりや庭木の剪定ができなくなり困っている。そういう人たちのちょっとしたお手伝いが出来ればとの事。意向を聞き取りながら有償ボランティア『スマイルファイブ』の立ち上げ支援を行う。

グループ名は何にしようか？
無償？有償？
対象者は？
作業中に怪我したらどうする？
チャラシを作る？



福祉サービスの入れる保険があります！
ボランティア登録のお手伝いしますね！
チャラシ作りのお手伝いします！

メンバーの皆で考えて頂き、分からないところをコーディネーターが調べアドバイスをしました。

令和6年11月活動スタート スマイルファイブ

スマイルファイブ

小さなボランティア、大きな社会貢献！

仕事内容

- 草むしり
- 庭木の剪定
- 電気関係お調べアドバイス

料金体制

- 草むしり 一律2,000円（即日払金）
- 庭木の剪定 状況を確認し要相談

対応エリア

- 馬橋西地区
- 米町
- 古崎

私たちは地域に貢献したいと思う仲間たちが集まった有償ボランティアです。

お困り

- 草むしりで出たゴミは、お住まいの地区のゴミ収集日に私たちが出しに行きます。それまではゴミ袋に入れておいてください。
- 庭木の剪定は、ご自宅にある樹木や剪定はさみをお借りする場合がございます。
- 作業は2人～3人で行います。

お支払い

作業終了後、現金で作業料をお支払いいただきます。お振込みの場合は、作業終了後、お振込みの口座にお振込みいたします。

お問い合わせ

お問い合わせは、お問い合わせ先へお問い合わせください。お問い合わせ先は、お問い合わせ先へお問い合わせください。

依頼があればロードバイクで向かいます！

馬橋西の暮らしを育む会の活動

ゴミ拾い&ウォーキング（月2回）

毎月第2月曜日と最終金曜日に馬橋駅西口近辺にてゴミ拾い活動が続けている。今年度は活動を見て声をかけて頂いたまなびや国際語学院の生徒たちともゴミ拾いを行い国籍を問わず活動することが出来た。



11月まなびや国際語学院の学生たちとゴミ拾い



語学院の生徒たちは2人1組でゴミ拾いを行いました。

私たちが住む街を綺麗にすることは気持ちがいいね♪



ゴミが沢山あるね。あそこにもゴミがあるよ！



学校帰りの親子も参加してゴミ拾いを一緒に行って来ています♪

シニア向けスマホ教室&お披露目会

シニアの介護予防・フレイル予防目的とし、スマホ教室を開催。参加者には課題を出し、後日写真お披露目会を開催し交流を深めた。



10月シニア向けスマホ教室

講師の方は「この講座でみんなにスマホを使う事を楽しく感じてほしい」と熱心に指導してくれました。外に出てスマホで写真を撮って来てもらう課題を出しました。みんな出来るかな～



11月写真お披露目会

わぁ素敵！ここどこ？などお出かけた所の写真や食べ物の写真などを見ながら皆で交流しながら、お披露目会をしました。

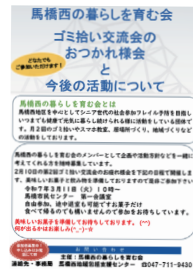
地域づくり交流会

第2回 馬橋西の暮らしを育む会 ゴミ拾い交流会

参加者…37名

2月10日（月）馬橋駅西口近辺

私たちの活動を知らない方への更なる周知と参加して頂くことを目的として開催。チラシを町会掲示板に掲示して頂き当日は沢山の方に参加して頂きました。その後、日を改めて「お疲れ様会」を開き、今後皆で行っていききたい事などの意見交換会を行った。



ゴミは少ないけど笑顔はいっぱい！で賞のチームはどこかな～



拾ったゴミの中には、PCの本体やタイヤのホイールカバーもありました…



ゴミ拾い交流会に参加して頂いた方へ、改めて育む会の活動内容を伝え今後こういうイベントがあればいいなど自由な意見を書き出してもらいながら意見交換会を行いました。

次年度に向けて

- ✓ 住み慣れた街でいつまでもお元気で過ごして欲しい。という目標を掲げ、今後もシニアの社会参加を促すアプローチを行っていく。
- ✓ オレンジ協力員の方と協力しながら認知症の人でも気軽に通える居場所づくりを行っていく。
- ✓ ケアマネとの連携を深め、個別ニーズに対応し自分らしく過ごして頂けるお手伝いを行っていく。

15 馬橋地区

馬橋（JR線東側）・三ヶ月・幸谷・ハケ崎
ハケ崎緑町・ハケ崎2～8丁目・中根・新作
中根長津町・中和倉

総人口	39,491人
65歳以上	9,514人
高齢化率	24.1%
75歳以上人口比率	14.0%

※令和6年3月現在

元気応援くらぶ	3ヶ所
---------	-----

※令和6年12月現在

防災訓練をきっかけとした、
見守りし合う
ネットワークの構築

地区の特徴

- 元々町会自治会、民生委員、地区社協をはじめとした地域活動が比較的活発だが、構成員の高齢化が課題。
- 建て売りの新築住居が増えてきており、子育て世帯の転入が多い。
- 山を切り開いた地域に坂が多く、買物や外出等が大変な場所が点在する。

地域課題

有事の際に支援の必要な高齢者等がスムーズに避難できるような見守りネットワークがない。

地域の介護事業所等が発災時、有機的に機能する様な連携システムが構築されていない。

高齢世代と子育て・現役世代の防災や減災に関する情報共有の場が少ない。

合同防災訓練の実施

3町会合同で防災訓練をハケ崎第2小学校体育館で実施約150人参加
互助・共助レベルによる平時からの見守りの重要性を再認識してもらい、見逃さないネットワークの構築を目指す。

実際の取組

地域課題の抽出

- 有事の際に支援の必要な高齢者等がスムーズに避難できるような見守りネットワークがない
- 地域の介護事業所等が発災時、有機的に機能する様な連携システムが構築されていない

課題の共有

- 馬橋地区事業所連絡会の開催（事業所間連携システムの構築）
- 要援護者等の避難経路の確認（町会・民生委員・オレンジ協力員等）
- 高齢世代と子育て・現役世代の防災や減災に関する情報共有の場が少ない（交流の場）

解決に向けた活動

- 関係者と“まち歩き活動”することにより、防災マップの精度を高めた

防災訓練の実施

- 情報更新した防災マップを、防災訓練の参加者に周知・配布した

活動の評価と再検討

- 互助と共助レベルで“見逃さないネットワーク”の構築を目指す必要性の共有
- 防災マップ情報の定期的な更新
- 地域で活躍する新たな担い手の発掘

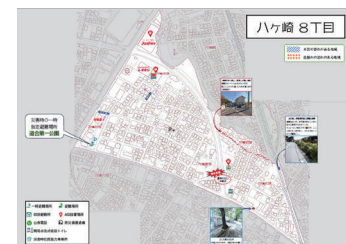
合同防災訓練の様子



新型コロナウイルスの流行以後、防災訓練は行われておらず、今回の2層ワーキングを経て、3町会合同の訓練を3年ぶりに再開することが出来ました。

防災マップ(ハケ崎)

民生委員やオレンジ協力員と一緒に“まち歩き”しながら有用な情報をマップに反映させた上で、避難経路及び見守りネットワークに関する周知・啓発を行いました



その他の活動



居場所・サロン

オレンジ協力員を中心として、健康増進・フレイル予防・認知症予防の教室などを開催しています。今年度、1か所増えました。（計3ヶ所）介護者のつどいでは、ピアカウンセリングをしながら、役に立つ情報提供等もしています。

男の料理・サロン

男性限定の料理クラブや、くつろげるサロンを定期で運営しています。料理クラブは参加者同士でメニューを決めて、買物、調理を楽しんでいます。また、サロンは、ギターの生演奏で懐かしい歌を朗らかに歌っています。

周知・啓発

地域包括支援センターの役割の周知や、消費者被害に関する情報提供等を地域に向けて発行し、フェイスブックも活用しています。（毎月）また、「見守りコール」と称して、多機能Coが定期的に状況確認する活動もしています。

オレンジ協力員

オレンジバトウオークや「くつろぎの場所」の運営をしてもらいつつ、定期的に情報共有及び、勉強会を実施しています。

次年度に向けて

- 防災訓練の実施（定例化）
- 馬橋地区事業所連絡会の定期開催
- 地域のステークホルダーと課題共有の機会を持つ

互助と共助レベルで“見逃さないネットワーク”を構築する

◆2024年度生活支援体制整備事業 松戸15地区地域づくりの実績共有◆

高齢者の活躍が地域をより良くする

令和6年度

地域づくり報告会

2025年3月25日(火) 14:00▶16:30

会場 松戸市衛生会館 3階大会議室

目的

松戸市内日常生活圏域15地区の地域包括支援センターに配置されている多機能コーディネーターが1年間取り組んできた活動を発信することで、多様な主体(町会・自治会、民生委員、NPO、ボランティア、事業者など)に対し、事業の理解やコーディネーターの活動内容の認知向上を図り、地域づくりの機運を高め、今後更なるネットワーク構築を図る一助となることを目的に開催。

参加者:51名

内訳

会場 21名 ・ オンライン 30名

属性

町会長、民生委員児童委員、オレンジ協力員、介護支援専門員、介護事業所、在宅医療・介護連携支援センター、NPO・市民活動団体メンバーなど

参加者からの感想(一部)

研修や地域の集まりになかなか参加出来ない
ので、知らない情報が
たくさんありました。地域の
包括さんや自治会と更に
連携を取り地域の方と
交流出来たらと思いました。



地域課題や持っている
力を活かした活動をして
いると感じた。
横との繋がりをつなぎ、
輪を広げて地域力が
高められるような取組
みが重要と感じた。



共通している課題に対
しては連携しながら取
組んでいけたら良いと
思いました。
横との繋がりをつなぎ、
輪を広げて地域力が
高められるような取組
みが重要と感じた。

